



## 【今月のTOPICS】

- ◇P1. 今月の所長コラム『事業継続力を強化するために』  
今月の言葉『自分から進んで自由に働く』  
『お仕事備忘録』 『編集部より』
- ◇P2～P3. 『インターン生のオンライン就活』
- ◇P4～P5. 『はじめてのオンライン未来そうぞう塾』
- ◇P6. 近況報告『未来そうぞう塾開催報告』  
『facebookより』 『未来そうぞう塾より』

### 【発行者】

長田会計事務所  
大阪市中央区徳井町2-2-9-701  
TEL 06-6944-2111  
FAX 06-6944-2110  
MAIL nagata@office-smile.jp  
HP <https://office-smile.jp/>

### 【編集部】

編集長 遠藤 悦代  
部員 木下 心路  
白岡 美奈  
発行責任者 長田 雅子



## 事業継続力を強化するために

この1か月の間に、九州・東北で河川が氾濫し、大規模な水害が発生しました。これから台風も迫る時期でコロナ禍でもあり、生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

先日、事務所の勉強会で「リスク」について学びました。「備えあれば憂いなし」という言葉がありますが、損害保険と「事業継続計画（BCP）」を立てることも必要であることを知りました。BCPは災害等で機能的状況化に置かれた場合に事業活動への影響を軽減し、早期回復し、企業価値を維持するために立てる計画です。今月から私たちも「自然災害」「感染症」「経営者リスク」に対してBCPを立案することにしました。

リスクに直面したとき、経営資源である人・モノ・カネ・情報をどのように守り、維持するのか。皆様に安心して仕事を任せていただけるよう、常に考えていきたいと思えます。

「事業継続力強化計画書」について詳細をお知りになりたい方は、弊所までお知らせください。



## 今月の言葉

### 「自分から進んで自由に働く」

現在の1冊 | 『幸福論』アラン著 ディスカヴァー・トゥエンティワン出版  
アラン (1868～1951) 哲学者・フランス

アランは、仕事は自分から進んで自由に働くものは最高で、逆に自主性がなければ最悪なものになると説いています。

最も自由な仕事は、仕事をする人が自分の経験と知識によって調整できる仕事です。つまり、自由とは上司が部下を放置することではなく、きちんと基礎を教え、部下の経験と知識を育て、部下が自分の経験と知識を応用しながら仕事を進めていくことができるようになった時に得られるものです。

自分で考えて仕事を進めていくからこそ成長でき、その成長が仕事のやりがいとなり、幸せを感じるのではないのでしょうか。



今月は19日から4連休があります。取引先の休業状況も確認しておきましょう。また台風シーズンですので、防災や安全対策の見直しを図り、万が一に備えておくことも大切です。

2020年9月

### お仕事備忘録

1. 社会保険料 定時決定結果の反映 (9月より)
2. 厚生年金保険の標準報酬月額最高等級引き上げ
3. 地域別最低賃金の改定額の公示
4. 各種助成金の延長期間
5. 複数就業者の労災保険給付の取扱い変更
6. 障害者雇用支援月間
7. 防災や安全対策の見直し

## 編集部より

就活のオンライン化について、どんなものだったのかを知りたいと思います。インターンシップ生たちにインタビューしました。

学生たちの「就職」への視線を感じていただけるものになったと思います。

時代は確実に変わっていきます。



# インターン生のオンライン就活体験

2021年春、大学を卒業する学生たちの就職活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。合同企業説明会の中止、会社説明会の中止、面接のオンライン化など、今までとは異なる就職活動をする必要がありました。弊所のインターンシップ生、白岡さん、小澤くんもそうです。ふたりがどんな就職活動をしたのかを知りたくて、インタビューしました。話してくれたことには、これからの人材採用のヒントがたくさんありました。

Q. 今年の就活は慣れないことが多く、大変だったと思います。オンライン面接に向けて備えたことはありましたか。準備はいつごろから始めましたか。

小澤：企業の合同説明会がコロナの影響で中止になり、「今年はオンライン就活になるぞ」という空気が3月には既にはありました。

白岡：オンラインに備えて面接専用のカメラやライトを買う人もいましたが、私は買いませんでした。PCを普通の机に置いたままだと視線が落ちるので、見おろすようなアングルになってしまったのが反省点です。

小澤：僕は結局ライトを買わなかったのですが、影ができないように勉強用のライトと携帯のライトの2個使いで顔に光を当てていました。あとは、重ねた本の上にPCを置いて、目線が同じになるようにしていました。

白岡：面接時は話す時の目線に慣れるまで大変でした。画面を見ると、カメラよりも下を見ることになるので、相手にとっては下を向いている暗い印象になってしまいます。話す時はずっとカメラ目線になるようにしましたが、難しかったです。

小澤：15～20分の面接で合否を決めるには、第一印象の与えるインパクトは大きいと思います。でもウェブ面接はそれを排除できたのかなとも思っています。態度や声分かりにくい分、喋っている内容に集中するので、パーソナルな部分を知ろうとしてくださったのではないのでしょうか。それでもできるだけ身振り手振りが伝わるようにしました。



面接の様子を再現中の白岡さん。



再現中の小澤くん。図の黄色の場所にライトを設置したそうです。

Q. オンライン面接になり、何か影響はありましたか。

白岡：関西以外の出身の学生とグループ面接で一緒になることもあり、交通費がかからないところはオンライン面接で良い点だったと思います。

小澤：企業は都会の方が多いので、地方の学生は面接だけでお金がかかったり、諦めたりすることも以前はあったと思いますが、今回はそれがなかったので良いと思いました。

白岡：でも、3月の企業合同説明会で業種を絞るのを理想にしていた学生には影響が大きかったのではないかと考えています。

小澤：企業にとっても合同説明会は学生と会える貴重な機会だったのではないのでしょうか。やっぱり就活も長期化していて、7月でも就活中の学生は多いです。



## Q. 合同説明会が中止になりましたが、何を利用して会社を探しましたか。

**白岡**：私はマイナビを使っていました。興味のある業種は決まっていたので、夏や冬のインターンに行っていて、それを思い出しながら選びました。

**小澤**：僕は四季報を参考にしましたが、会社の採用HPもよく見ていました。社員さんのインタビューなど興味ある会社だと結構読みます。

**白岡**：私も面接に行くまでに雰囲気を知るにはパンフレットやHPをよくチェックします。先輩社員のやりがいを感じるところや大変なところを知ると、入った後のことをイメージできました。

**小澤**：イメージしやすいといえば、僕は職種別で探すのが合っていました。法務部採用、経理部採用など、職種別採用をやっている会社だと自分が働いている姿を想像しやすいです。終身雇用が前提なら総合職採用やジョブローテーションでもよいですが、最近はその状況は想像しにくいです。

## Q. どのように就活を進めたのか教えてください。

**白岡**：希望していたコンサル業界は採用の時期が早く、1,2月が面接のメインの時期ということもあり、対面式面接を経験していたので、オンラインとの差を感じていました。就職が決定した会社はすべてオンラインだったので、対面したことも会社に行ったこともない状態です。不安でしたが、人事ではない先輩がZOOMや電話での面談をしてくださるメンター制度があるので、そのおかげで会社への理解度と安心感が高まりました。

**小澤**：僕は3月にエントリーシート出して、4月から面接が始まって6月で終わりました。対面式だと会社や周りの学生の雰囲気を知ることができますが、今回は面接官としか会う機会がなく、人事の方とのやりとりで会社を決めるしかありません。複数人の面接官による同じ質問が続くと、テレワークで面接官同士の連携がとれていないのではないかと感じたり、対面式の面接だと非常時の対策がないのではないかと不安になりました。オンライン面接の最中で動画が止まってしまった面接や、相手のカメラがなく顔が見えない面接もあり、備品が充分ではないのではないかとという心配も出ました。この状況に上手く対応しているかが会社を選ぶ大きなポイントでした。

**白岡**：私の周りでは連絡が遅れる会社が多かったです。1週間後連絡すると言っていたのに、1か月も2か月も後に連絡があると、たとえ志望度が高くても別の会社にすることに決めていました。1通でも連絡があるかどうか大事なポイントでした。

## Q. オンライン就活を経験してどう感じましたか。対面式とどちらが理想の面接様式ですか。

**白岡**：私はオンライン就活にも良い点があると思いました。東京本社になかなか行けない人でも面接が受けやすいですし、地域の格差がなくなります。ただ、全部をオンラインにするのは抵抗があります。一次二次面接はオンラインのままでも良いと思うのですが、最終面接は直接会いたいという企業も多く、私もそう思っています。両者のよいところを融合させた形が理想的です。働いている人と会社ですれ違って分かる社内の雰囲気もあると思います。一度は会社に行く機会があれば良いかと思います。

**小澤**：オンラインや対面式にそれぞれ良いところと悪いところがあって、オンラインで良いものも多いということが今年分かりました。例えば会社説明会を対面で行う必要はないし、むしろ配信のほうが多くの人に見てもらえるでしょう。面接においては、どちらかが得意という人も出てくると思います。それぞれが得意な方法で伝えるチャンスがある状態がベストだと思うので、面接はどちらかを希望できるのも面白いのではないのでしょうか。

足りないところは別のやり方で補うことができれば、以前よりもっと便利なものになりますね。

ふたりが教えてくれた体験談は企業にも後に続く就活生にもきっと役立ちます。改めてお疲れ様でした。本日はありがとうございました。



# はじめてのオンライン未来そうぞう塾

7月、外部講師の方をお招きし、『未来そうぞう塾』を開催しました。  
(講座内容については弊社HPをご覧ください。)

今回、新型コロナウイルスへの対応のため事務所でのリアル受講が4名、在宅でのオンライン受講が2名のハイブリッド型講座を試みました。

さて、どのようにハイブリッド型の勉強会を準備し、開催したのか。  
当日一人で運営してくれた小向がお伝えしたいと思います。



亀多先生(左)と勉強会の様子。



準備中のスタッフ小向です。

準備として、オンラインでも勉強会ができるようスピーカー兼マイクを用意しました。Zoom (Web会議ツール) ではパソコンのマイクを使用できるのですが、パソコンとの距離や角度によって音声を拾いづらくなるためです。

また、このマイクはスピーカーとしても使用できます。ただし直接机の上に置くと、音量によって机が振動するため対策が必要です。振動を吸収するため、今回は文庫本の上に乗せました。

スピーカー兼マイクを使うと周囲の音を拾いやすくなるので(そのために使っているのですが)、「換気扇の音が大きい」とオンライン受講するスタッフから指摘されました。そのため換気扇は消して窓を開けることにしました。すると話し声以外の大きな音は聞こえなくなりました。

次にカメラです。カメラは購入せず、ノートパソコン付属のものを使用しました。

カメラ用とZoomを操作する用の2台のパソコンを使いたかったのですが、Zoomを使用する複数のパソコンやスマホを近づけるとハウリング※を起すため、カメラ用のパソコンのみ使用しました。

※マイクがスピーカーの音を拾ってしまい、音が鳴り続けること。



距離を保っています。

パソコン付属のカメラは機種によっては画質が悪く、事前に画質がいいものを選んでいました。しかし当日に画質の悪いものに変更することにしました。実際に全体を撮影してみるとパソコンによって撮影できる範囲が違ったためです。結局ホワイトボードが撮影しやすいことを選びました。



オンラインセミナーではマイク、スピーカー、カメラと機器の準備が大切です。



青色のマーカーを使用中です。

特にカメラには注意が必要です。使用する環境で画像が全く異なるからです。

顔色が悪くなったり、画面に波ができたり、暗くなったり、など、想定外の現象が起きました。安定した環境のためにはさらにライトが必要かもしれません。

また、ホワイトボードマーカーは黒より青の方が見やすいことがわかりました。

弊所ではWeb会議ツール「Zoom」を使用しています。Zoomは無料版もありますが、今回有料プランに加入しました。無料版は40分の時間制限がありますが、有料にすれば時間は無制限です。他に参加者をグループ分けする機能やアンケートを取る機能など、有料プランのみで使える機能がいくつかあり便利です。

今回は在宅のスタッフと連携してセッティングしていきました。ハード面は事前に確認していましたが、実際にセミナーが始まるとリアルとオンラインのコミュニケーションや空気感の違い、講師の動き、資料配布の方法など、さらに事前に検討、決めておくことが必要だと思いました。加えてその場での柔軟さも必要です。

準備にバタバタし、当日もバタバタしてしまいましたが、距離に制限されず多くの参加者と一緒に学ぶオンラインセミナーやオンライン面談は、これから必須になるスキルです。

弊所としても取り組んでいこうと思います。



PC画面にはオンライン参加者が。



今回は事務所内の勉強会でしたが、準備が整いしい「未来そうぞう塾」を再開いたします。しばらくは安全のためオンライン開催とする予定です。ぜひ、「はじめの一步」を体験しにきてください。



講師の木下です。

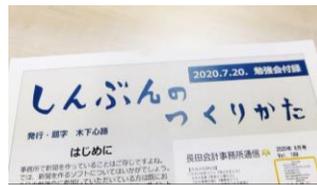
私はPowerPointを使って画像を作るのが好きで、新聞もこのソフトを利用しているので、「しんぶんのつくりかた」と題したペーパーを付録として配ることにしました。併せて読みやすい資料を作るためのポイントをまとめ、スライド用のデータを別に用意しました。

話すことを事前に整理して臨みましたが、思っていたよりも早くスライドが終わってしまいました。残りの時間は質問を募集したり、自分が紹介したかった機能を実践したりという実技タイムになりました。

勉強会の様子。



勉強会中は「こんな使い方があったのか〜」などの声に助けられ、良い雰囲気勉強会を終えることができましたが、家に帰ってから「あの機能も紹介したかった」と反省点がたくさん出てきました。次回はトレンドも取り入れつつボリュームアップしたデラックバージョンの勉強会ができるようにしたいと考えています。



題字はマウスで書きました。

講師の森田です。

私はパソコン教室でExcelを勉強しており、初めて勉強会の講師を担当しました。

スライドはテキストとして印刷し、勉強会後にも役立つものにしようと考えました。さらに練習問題も用意し、ただ使い方を説明するだけでなく、実際に表を作成してもらうことでやり方を身に付けてもらえるように工夫しました。



万が一時間が余ってしまったとき用にと、おまけの問題を用意していたのですが、自分のパソコンが動かなくなるというハプニングが起きた際、そのおまけの問題を使うことができました。予期せぬ事態が起こる可能性も考慮して準備しておくことも大切だと思います。

次回は、今回の経験を活かし、初心者にも勉強会を通じて基本操作が身に付けてもらえるように内容をさらに改善したいと思います。



## 長田会計事務所 facebook より



現在事務所は時差出勤で勝手にサマータイム中なので、2時にお茶タイムとなります。今日のおやつは桃🍑...



長田会計事務所ではfacebookで情報発信しています。HPやQRコードからでもご覧いただけます。チェックしてみてください！



## 未来そうぞう塾より

オンライン未来そうぞう塾を準備中です。お楽しみに♪

